

業 務 名

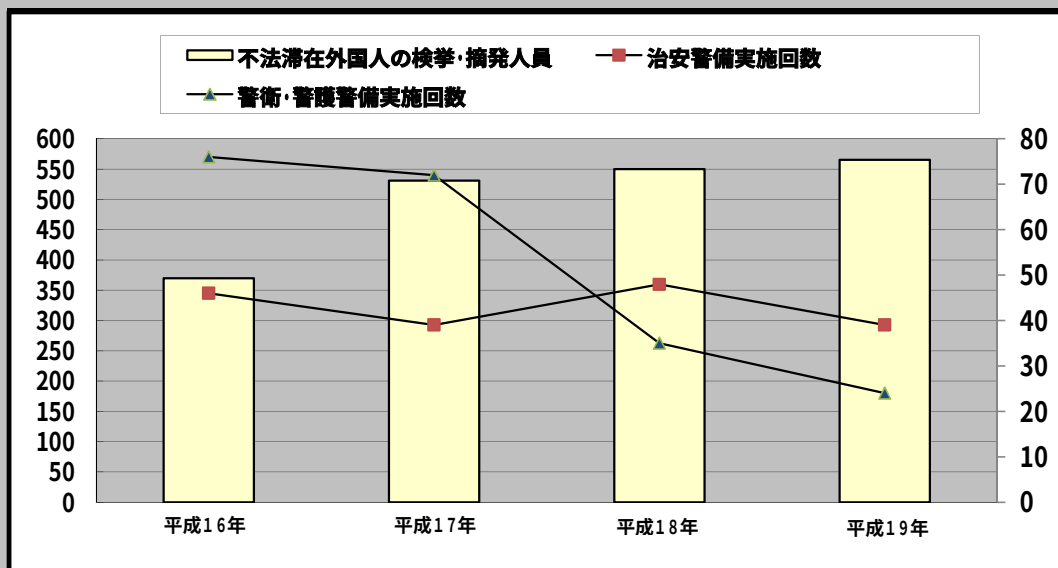
警備諸対策の推進

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
不法滞在外国人の検挙・摘発人員	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
	370	531	550	565	人
治安警備実施回数	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
	46	39	48	39	回
警衛・警護警備実施回数	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
	76	72	35	24	回
	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位

※「不法滞在外国人の検挙・摘発人員」には、資格外活動を含む。

※「治安警備」とは、警備事件が発生するおそれがある場合等に行う部隊の運用を伴う総合的な警察活動をいう。



○業務の主なコスト

№	事 業 名	平成19年度事業費 (千円)	平成20年度事業費 (千円)
1	テロ等対策費	41,570	50,552
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
合 計		41,570	50,552

○平成19年の取組み

●法務省入国管理局との合同摘発を積極的に推進するなどして取締りを一層強化した結果、過去最高を記録した前年をさらに15人上回る不法滞在外国人（資格外活動を含む）を検挙・摘発したほか、これら不法滞在を助長する犯罪の検挙に努めた。

●国内外の警備情勢を踏まえ、三重県内の国際港湾である四日市港・津港・尾鷲港において、入国管理局・海上保安本部・税関等関係機関と連携して、港湾保安委員会等の会合を開催するとともに、テロリストの不法入国等を想定した訓練を実施した。

また、テロの標的となり得る公共交通機関、ライフライン施設、人が多数集まるテーマパーク等に対する警戒活動等の警備諸対策を推進した。

●デモ行進等の公安条例申請を87件受理し、警察措置が必要な39件について、交通対策を始めとした治安警備実施を行った。特に、日本共産党演説会に対する右翼団体等の抗議活動については、不測の事案を想定した強力な警備部隊を編成し、治安警備実施に当たった。

●皇太子殿下の第62回神宮式年遷宮お木曳き行事等御視察に伴う警衛警備においては、御対象の御身の安全を確保するとともに、歓送迎者の雑踏等による事故を防止したほか、県民生活への影響を最小限とする計画の策定等に配慮した。

●警護警備では、内閣総理大臣ほか閣僚の伊勢神宮参拝や参議院議員通常選挙に伴い来県した政党要人等に対する警護警備実施に努めた。

○課題と平成20年の取組み

●法務省入国管理局との連携による合同摘発等を引き続き推進することにより、不法滞在外国人の取締りを積極的に実施するほか、組織的かつ悪質な事案の検挙・摘発に努める。

●平成20年7月の北海道洞爺湖サミットなど国内各地で開催されるG8関係閣僚会議等に伴い、日本国内で国際テロが敢行されることが危惧されることから、各種テロ関連情報の収集を始めとする警備諸対策を推進する。

●国内外の警備情勢を踏まえた的確な警備実施に努めるほか、不測の事案に備えた態勢の確立及び部隊対処能力の向上を図る。また、的確な警衛・警護警備の推進と治安警備実施に努める。